

# 令和5年度 第53回九州中学校バスケットボール競技大会

## 個人データ表

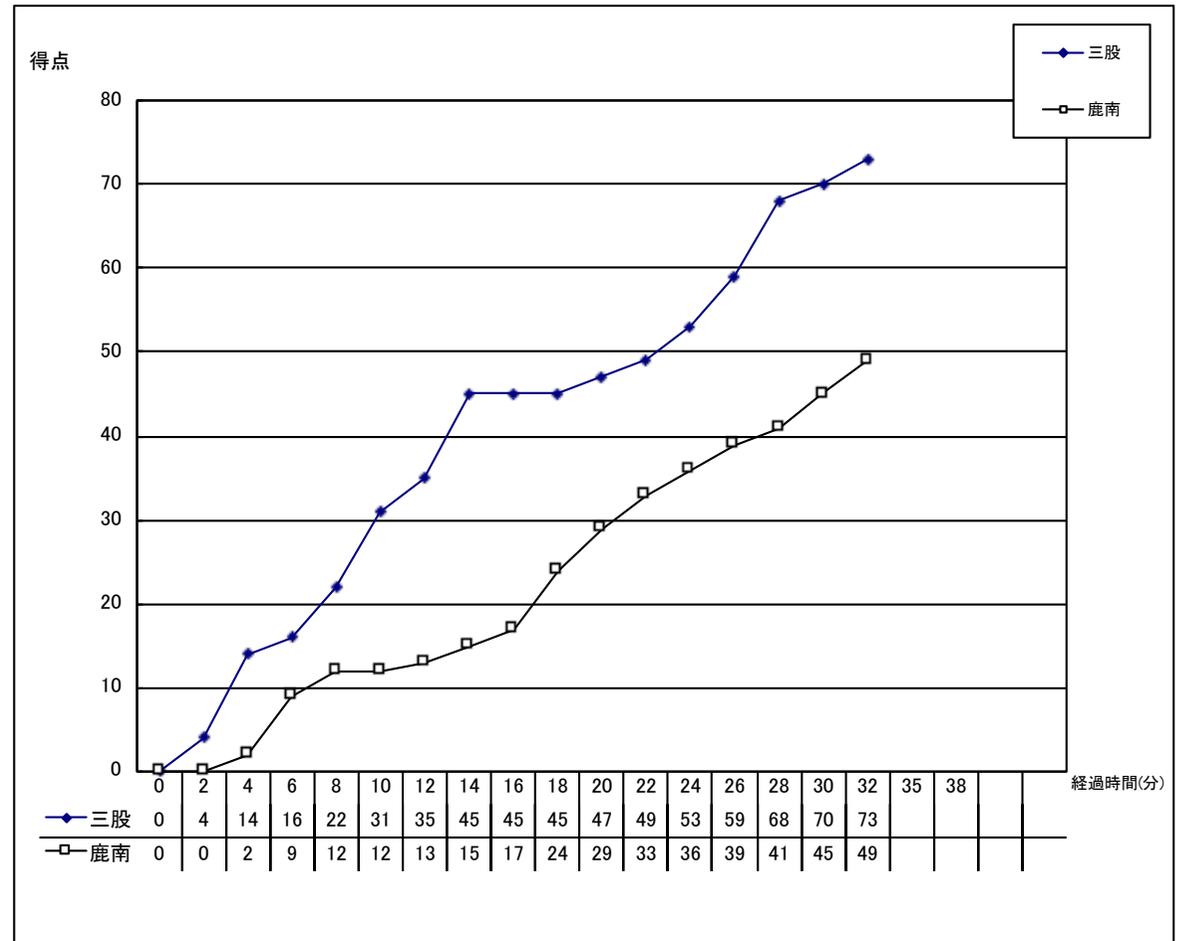
女子 1回戦	令和5年8月8日	16:40 開始
会場： ナースパワーアリーナ	Aコート	第3試合
主審： 山口	副審： 岩村 古瀬	

☆ 三股 宮崎	73	<table border="1"> <tr><td>22</td><td>1 Q</td><td>12</td></tr> <tr><td>23</td><td>2 Q</td><td>5</td></tr> <tr><td>8</td><td>3 Q</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>4 Q</td><td>13</td></tr> </table>	22	1 Q	12	23	2 Q	5	8	3 Q	19	20	4 Q	13	49	鹿南 熊本
22	1 Q	12														
23	2 Q	5														
8	3 Q	19														
20	4 Q	13														

三股												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
○ 4	小玉 愛莉	35	3	8	13	22		1	2	3	3	6
○ 5	蔵満 莉緒	15	1	3	6	9		1	2	5	2	7
○ 6	浅利 蕾	2		4	1	1			2			
7	中嶋 璃子	4		3	2	3						
8	平野 那実											
9	有田 理沙子	3	1	1					2			
○ 10	小田 陽夏子	14		1	6	12	2	2	3	3	3	6
○ 11	及川 莉奈			4		1		2	1	3	1	4
12	原 ゆり子			1		1			1			
13	和田 すず乃			1		3			1			
14	山田 千晴											
15	徳重 小晴					1						
16	押領司 呼愛											
17	山元 楓愛											
18	田中 希依											
コーチ	横山祥子											
合計		73	5	26	28	53	2	6	14	14	9	23
成功率			19.2%		52.8%		33.3%					

鹿南												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
○ 4	石本 仁実	21			8	17	5	9	2	6	2	8
○ 5	檜崎 亜美	11		4	5	10	1	2	3	2		2
○ 6	菱 由羅	4	1	6			1	2	2			
○ 7	上村 妃麗	5		2	2	5	1	2			1	1
○ 8	片山 紗菜	8		3	2	5	4	6	2	1		1
9	中田 藍菜											
10	西澤 心音											
11	野下 千尋											
12	上村 姫夢											
13	大川 ももの											
14	大城戸 仁菜											
15	小川 育梨											
16	河原 亜香里											
17	多良木 雫											
18												
コーチ	黒田 孝郁											
合計		49	1	15	17	37	12	21	9	9	3	12
成功率			6.7%		45.9%		57.1%					



### 《戦評》

1Q: 三股(宮崎1位)と鹿南(熊本2位)との対戦。両チーム共にハーフコートからのディフェンス。ゲーム開始直後から三股の積極的な攻撃が続くも、鹿南も守りきる。徐々に三股がリズムを掴みスコアを伸ばしていくが、鹿南は#4へのパスを狙われTOが目立つ展開。1Q6:00に鹿南1つ目のTOを要求する。その後、鹿南の持ち味である#4と#5が連携したプレーでこのゲーム初スコア。両チーム共にチームの良さを生かしたバスケットが続き、22-12三股リードで1Qを終える。

2Q: 三股が#4と#10のPnRを起点したプレーから確実にスコアを伸ばしていくのに対し、鹿南は2Qに入りスコアできない状況が続く。4:19に鹿南2回目のTOで一度流れを止めるが、その後も状況は変わらない。鹿南#4の粘り強いインサイドでのプレーや、#5の効果的なキックアウトから攻撃を続けるが、三股の堅いDed.からスピードあるバスケットが上回る。45-17三股がリードを広げ後半へ折り返す。

3Q: これまでの流れに反し、3Qは鹿南#7のペイントアタック、#6の3Pシュートなどから鹿南のリズムでゲームが進み、三股のTOが目立つ展開。3:56に三股がこのゲーム1つ目のTOを要求。三股は選手の交代を繰り返しながらゲームを進め、鹿南は落ち着きあるプレーで着実にスコアを伸ばす。53-36三股リードで4Qに入る。

4Q: 両チームとも落ち着いてゲームを進める。三股はテンポの良いボールムーブと積極的な3Pシュートでスコアを伸ばし、鹿南は#4がインサイドで強くプレーを続ける。鹿南は最後まで#5を中心としたアグレッシブなディフェンスから、スコアのチャンスをつくったが、73-49で個人力と組織力の両面から三股がこのゲームを制した。

戦評記入者: 伊藤千穂 (玉名市立玉名中学校)